

2011年1月17日
 提出期限：3月23日(水)
 提出先：研究課・高橋
 (内線298)

2010年度研究活動報告書(2010.4.1～2011.3.31)

コミュニケーション学部

氏名 山田 晴通

【A】

I：研究業績(項目1～10)

項目番号	審査制	活動内容・著述題名 プロジェクト名(※科研費の場合研究種目名) 研究課題(代表者)	発表媒体・助成団体名 (頁数・共著者・編集担当者を明記)	発表年月日
4		1980年～2005年の北海道における日刊新聞市場の変動.	『コミュニケーション科学』33号, pp.115-148.	2011年2月23日
4		米国のポピュラー音楽系博物館等展示施設にみるローカルアイデンティティの表出とその正統性.	『人文自然科学論集』130号, pp.155-187.	2011年2月23日
5		新聞記事データベースにみる音楽ジャンル名としての「フォーク」概念の定着過程.	『コミュニケーション科学』32号, pp.157-190.	2010年10月13日
6		『VI』と『VII』の間. ラウンドテーブル「経済地理学の課題を考える」(ペーパー参加)	経済地理学会・第57回大会(広島大学) 要旨:経済地理学年報, 56, pp303-304.	2010年5月23日
6		ラウンドテーブル「ブロードバンドと地域」(討論者)	経済地理学会・第57回大会(広島大学) 要旨:経済地理学年報, 56, pp293-294.	2010年5月23日
6		Popular music in Japan: So different? Not so different?.	International Association of Music Libraries, Archives and Documentation Centres (IAML): Congress 2010, Moscow, Russia, 27 June-2 July, 2010.	2010年6月29日
6		日本のポピュラー音楽 歴史的概説の試み.	国際音楽資料情報協会日本支部・研究例会(東京音楽大学)	2010年12月9日
6		Burton Crane's recordings in Japan from 1931 to 1933: The influence of American music on 1930s Japanese musical tastes	IASPM-US 2011 Conference, Cincinnati, OH, 9-13 March, 2011	2011年3月10日
7		書評「(財)中部産業・地域活性化センター・伊藤達雄 編著『中部を創る-20人の英知が未来をデザイン-』」	経済地理学年報, 56, pp169-171	2010年9月30日

II：外部の競争的研究資金の獲得

該当なし

裏面へつづく

2011年1月17日
提出期限：3月23日(水)
提出先：研究課・高橋
(内線298)

Ⅲ：その他特記すべき研究

該当なし

【B】

研究にかかわる社会的活動業績

項目 番号	活動内容・著述題名	発表媒体	発表年月日
		活動期間	
1	コラム「ランダムアクセス」(不定期連載)	市民タイムス(松本市)	2010年4月28日ほか 全8回
1	NIMBY 施設と地域コミュニケーション。(特集・廃棄物処理施設の課題ー地域コミュニケーション・情報公開ー)	季刊 環境技術会誌(廃棄物処理施設技術管理協会), 141, pp. 32-34.	2010年10月1日
2	CD評「commons: schola」	ミュージック・マガジン, 2010/05, pp. 72-73.	2010年5月1日
2	書評「片山杜秀『クラシック迷宮図書館- 音楽書月評 1998-2003』『続・クラシック迷宮図書館- 音楽書月評 2004-2010』」	図書新聞.	2010年8月28日
4	ウィキペディアに参加して あるいは コミュニティ周縁からの眺望(凡庸なる独自研究の試み)	Wikipedia:オフラインミーティング/WCJ2010 Outreach	2010年11月14日

【C】

研究活動状況報告：成果として公表していないが進行中の研究活動について

<p>・英国の地方集落ー中小都市に関する地誌的研究。</p> <p>・日本ポピュラー音楽史についての通史的記述の試み。および、ポピュラー音楽研究に関する、英語圏の重要研究論文の翻訳作業。</p>

※〔A欄・B欄〕に記載しない場合でも、必ず〔C欄〕にはご記入下さい。白紙の場合は、「未提出」扱いに致します。